

「夢に挑み 道を啓く 土屋雷蔵伝」 発刊しました

発刊にあたり

将来のインフラ整備を担う若手研究者に授与される「土屋雷蔵賞」(土木学会関東支部新潟会)に名を冠する土屋雷蔵氏(1928-1990)は、1963(昭和38)年1月に建設省北陸地方建設局(当時)に着任し、記録的豪雪と新潟地震に対処した建設官僚です。この間に現在の新潟バイパスを構想、これがおよそ30年後に整備が始まる地域高規格道路の先行事例として研究されるなど、氏は際立った先見性を持っていました。

本書は土屋雷蔵氏の仕事をつぶさに追いながら、近現代の道路行政の変遷のみならず、災害にどのように立ち向かい、克服していくか、未来を担う官僚、リーダーのあり方にフォーカス、いわば「土屋雷蔵は、いかにして未来を作ったか」を示したものです。

その未来が過去になった今も、現代を生きる私たちに普遍的な示唆を与えるものと確信しています。インフラ整備、災害対応の現場のみならず、日本の将来を担うすべての人の「座右の書」となることを切に願い、ここに発刊いたします。

提供方法

◆電子書籍(ダウンロード無料)

① 北陸地域づくり協会 HP【電子 Book】

<https://www4.hokurikutei.or.jp/e-book/>

② Google Play ブックス

※6月中旬予定

※ご利用にはアプリのダウンロードが必要です

◆単行本

実費提供 1冊 1,100円(税込み)

※送料は別途ご負担いただきます

ご注文は PC インターネットで!

北陸地域づくり協会 HP【図書等販売】

<http://www2.hokurikutei.or.jp/book/general.html>

窓口販売も行っています

〒950-0197

新潟県新潟市江南区亀田工業団地 2-3-4

(一社)北陸地域づくり協会(図書販売)

TEL:025-381-1301 FAX:025-383-1470

夢に挑み 道を啓く 土屋雷蔵伝

山口寿道
橋本啓子

一般社団法人北陸地域づくり協会

A5判 240頁

《お問い合わせ先》

〒950-0197 新潟県新潟市江南区亀田工業団地 2-3-4

一般社団法人北陸地域づくり協会 企画事業部

TEL:025-381-1160 E-mail:hkyokai@hokurikutei.or.jp

夢に挑み 道を啓く 土屋雷蔵伝

目次

はじめに 日本道路協会 会長 徳山 日出男

第1章 土屋雷蔵の原点 ワトキンス・レポートの衝撃

1. 「日本の道路は信じがたいほど悪い」
2. 国土開発の系譜—内務省の土木行政
3. 戦後の道路行政と若手技術者 土屋雷蔵
4. 三国峠の一次改築現場
5. 道路構造令に託した「未来」
6. 道路ネットワークが国力向上の源
7. 「機械化」という課題

第2章 「道路除雪元年」 今も語り継がれる三八豪雪

1. 新潟へ 人生を変えた異動
2. 相次ぐ立ち往生 特急列車内に26時間
3. 白魔、猛威を振るう
4. 東京に向けて、道路を啓開せよ!
5. 「豪雪」が「災害」となる
6. 三八豪雪が突きつけた課題

第3章 インフラの真価を明らかにした新潟地震

1. 新潟市街 泥に埋まる
2. 使える橋はどれだ?
3. 救援を支えた萬代橋
4. 東京オリンピックという「明るい未来」の陰で

第4章 人生の岐路 高速道路行政

1. 国幹道7, 600キロまでの道程
2. 「特別の才能」
3. 高速道路建設の「大恩人」

第5章 道路で未来を構想する

1. 半世紀を経ても新潟市の大動脈
2. AASHOを読み解く勉強会
3. 北陸自動車道問題と新潟バイパス
4. 幹線ネットワークとしてのバイパス計画と新産業都市
5. 半都市、半農村のバイパス道路
6. 語り継がれる「隠れ6車」
7. 組織を超えた「土木」の連携
8. 道の駅豊栄が「元祖」と言われる理由
9. 新潟バイパスのストック効果

第6章 雪と生きていくために

1. 雪崩実験場での出会い
2. 「防雪工学」の誕生
3. 「道路除雪元年」の教訓を形に
4. 道路除雪「三種の神器」+「情報」
5. 雪対策、線から面へ
6. 「災害」から「資源」へ、道路除雪が社会を変えた

第7章 土屋が後世に託したもの

1. 土屋が仰ぎ見た土木技術者
2. 「土屋学校」の卒業生
3. 清忙は養
4. 夢のある道路づくり

あとがき 鈴木 聖二